

|月の予定

★ゆめじゅく編集委員会

|日(月) |3時30分~ ★移動図書館青い鳥号

4日(木) 17日(水)

★回転木馬

| 10日(水) | 10時~

★人権のつどい日

| | | 日(木) | 9時30分~2|時00分

★人権・同和教育関係行事

9日(火) 愛媛県人権・同和教育研究大会 | 4時~|4時40分 26日(金)新居浜市人権・同和教育研究大会 30日(火)令和2・3年度文部科学省人権教育 研究指定校事業研究発表会(西中)



毎年8月に開催していた「であい展」ですが、新型コロナウィルス 感染症のため今年も残念ながら開催できませんでした。イベントの中 止や延期にともない、先の見えない不安から活動意欲にまで影響がで てきたりしています。

そこで今回、瀬戸会館で活動されているサークル・教室の日頃の活動の成果を少しでも皆さんに見 ていただき、今後の活動意欲の向上に繋げていただけたらと思います。I週間と短い期間ではありま すが次のとおり作品展を開催いたします。皆さまのご来館をお待ちしております。

> 日時

時間 9時~17時 瀬戸会館 B室 場所



|0月|4日、良き日に地鎮祭

自治会館建設にあたり、連合自治会長、建設委員、 河端建設、ユヤマー級設計工房、自治会員等多数参加の もと、浦渡神社の神主様を招聘し地鎮祭を執り行いました。 神主様の祝詞に、厳粛な気持ちになり、工事の安全と、 無事の竣工を参加者全員で祈願いたしました。



愛媛県人権対策協議会新居浜支部は、昨年度から「シトラスリボンプロジェクト」 を実施しています。今年度も、去る9月21日(火)に、新居浜市教育委員会を訪問し、 市内小中学校の教職員の皆様(約600人)に手作りによるシトラスリボンを贈呈しました。

シトラスリボンとは、新型コロナウイルス感染症の患者やその家族、医療従事者、またエッセンシャルワー カーや外国人などへの、新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見の防止を目的とする「シトラスリボ

ンプロジェクト」のシンボルです。コロナ禍の 2020 年 (令和2年) 4月に 愛媛県の有志で構成されるグループ「ちょびっと 19+」によって考案され、 特産の柑橘類をモチーフとした緑色と「地域・家庭・職場(学校)」を示す 「三つの輪」を特徴としています。一日も早く、コロナが終息して以前のよう な安心・安全な日々が戻ってくることを願い、シトラスリボンを高橋良光教育 長と高橋正弥教育委員会事務局長にお渡ししました。



月

絵本『ひらがなにっき』を紹介します。この絵本は、60歳をすぎてから識字学級に通い、読み 書きを学んできた吉田一子さんの体験をもとにしたものです。吉田さんは、家が貧しかったこ と、そして戦争のため、子どものころ学校に通うことができず、読み書きを学ぶ機会がありませ んでした。そこで、娘さんたちの勧めで地域の識字学級で字を習いはじめました。最初は教室に 行きづらかったというものの、周りの応援で点線をなぞるところから勉強しました。それから週一 回のペースで通い、孫に手伝ってもらいながら日記を書きためていったものがこの絵本です。 絵本では、病院で初めて名前を書いてよばれたときのよろこびなど、文字を獲得していく日常 が描かれています。

人の悪口の書かれた落書きをみて、

なに かんがえてるんやろね だいじな かわいい じ つこうて ひとの わるぐち かいて ばち あたりまっせ

と怒りと哀しみを綴っているところが、特に印象に残りました。 読み書きを学ぶ機会を奪われた人たちの苦労や悲しみが伝 わるとともに、当たり前だと思っている字が読めること、でも、そ

れが「本当は幸せなことなんだ」と実感しました。そして、改めて字を書けること、読めることの 尊さと重さを大事にしたいと思いました。 後書きも必読。教育の大切さに気付かせてくれる 良作、おすすめです。





8 WORRHURTAR

「3びきの子ぶた」は、皆さんよくご存じのお話だと思いますが、『3びきのかわいいオオカミ』ユージーン・トリビザス(著)、 ヘレン・オクセンバリー(絵)、こだまともこ(訳)という絵本があるのをご存じですか。

お母さんオオカミが3匹の子どもオオカミに「協力して自分たちの家を作るように。そのとき、悪い大ブタには十分に気をつけるように」と話す場面からこの物語は始まります。

3匹の子どもオオカミは、協力して家を建てます。最初は、レンガ、次にコンクリート、最後に鉄骨・鉄板・鉄条網を材料に家を建てますが、いずれも悪い大ブタが来ていろいろな機材やダイナマイトまで使って壊していきます。

3匹の子どもオオカミは、頑丈でつぶされない材料で家を建てましたが、いずれも壊されてしまいました。そこで3匹の子どもオオカミたちは考えました。「今まで、壊されるごとに材料をより丈夫なものへと変えて建ててきたが、材料が悪かったのではないか」と。

その結果に選んだ材料はなんと「花」でした。花の家を建て、壁も、天井も、床も花で一杯にしました。この家に大ブタがやって来て、吹き飛ばそうとしましたが、大きな息を吸い込んだ途端、甘い花の香りが大きなブタの鼻に入り、いい気持ちになりました。大ブタは、何度も何度も花の香りを吸い込むうちに、心が優しくなり、悪いブタからいいブタになっていきました。やがて、優しくなった大ブタと3匹のオオカミは仲よく一緒に暮らすようになったという、ハッピーエンドで終わります。

この物語では、3匹の子どもオオカミは、お母さんから聞いた「大ブタは悪い動物である」という

思い込み(先入観)をもとに、大ブタが自分たちの側に入らないように、壁をどんどん高くしていきます。それに対して、大ブタは疎外感を感じ、何度もオオカミを攻撃します。

このようなことが、私たちの身の回りにもないでしょうか。戦争などの争いごとが激しくなるのも、こうした意識が働くことからではないでしょうか。話し合ったり、相手を思い、理解し合ったりすれば上手くつきあえるのに、 先入観から壁を高くしていることがあるのではないでしょうか。先入観を捨て、心を解きほぐす花の甘い香りに浸れるようにしたいものです。



ጙ፞፞ዾጙ፞፞፞ዹጙ፞ዾጙ፞፞፞ዹጙ፞ዾጙ፞፞ዹጙ፞ዾጙ፞፞ዹጙ፞ዾጙዹ ጙ፞፞ዾጙ፞፞ዹጞ፞ዾጙ፞፞ዹጙ፞ዾጙ፞ዹጙዾጙ፞ዹ

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、

10月11日に開催予定の「人権のつどい日」は、中止になりました。

本来であれば、10月28日(木)に今治市で開催される「東予地区人権・同和教育研究協議会」で報告される新居浜市内での2つの実践を事前に報告していただく予定でした。

報告者はNPO法人新居浜ほっとねっとの髙橋雅子さん「生い立ちから生じる、生きづらさを理解する」という題で、女性の人権や子どもの人権についての発表と泉川公民館長真鍋智明さん「『泉川校区花いっぱい運動』や『大好き泉川の日』を通して心を育てる」という題で、子どもの人権、社会教育についての発表の予定でした。本当に残念ですが、また、機会があればお二人の発表をお聞かせ願えたらと思います。



瀬戸会館使用状況



Ⅰ0月Ⅰ9日 現在

_	10/11/H 9/0					
月	火	水	木	金	±	8
1 楠木クラブ ピンポン べっぴんさん 書神会 fun	2 詩吟 ZUMBA 書神会	文化の日	4 紙バンド ZUMBA	5 健康体操 ピンポン	6 ポーセラーツ	7
8	9	10	11	12	13	14
楠木クラブ ピンポン べっぴんさん 書神会 fun	詩吟 ZUMBA 書神会	詩吟 ポーセラーツ	紙バンド ZUMBA	健康体操ビンポン	てんこく	
作品展		作品展	開催中			
15 楠木クラブ ピンポン べっぴんさん 書神会 fun	16 詩吟 ZUMBA 書神会	17	18 紙バンド 消防訓練 ZUMBA	19 健康体操	20	21
22 楠木クラブ ピンボン べっぴんさん 書神会 fun	型第 ⁰ 00	24 オカリナ	25 オカリナ小組 ZUMBA	26健康体操	27 ポーセラーツ	28
29 楠木クラブ ピンポン べっぴんさん 書神会 fun	30 詩吟 ZUMBA 書神会			A MANAGEMENT OF THE PARTY OF TH		赤色:午前 青色:午後 黒色:夜間

>

瀬戸会館大掃除について





いつも瀬戸会館を利用していただきありがとうございます。

さて早いもので年末が近づいてまいりました。恒例の瀬戸会館大掃除を各サークル、団体の協力のもと、 行いたいと思います。昨年は大勢の方に参加していただき感謝しております。今年は各サークル2、3名程度 参加をお願いします。一年のほこりをさっぱり落とし、新しい気持ちで新年を迎えたいと思います。ご参加・ご 協力いただきますよう宜しくお願い致します。

日時 | 12 月 5 日(日) | 10 時から | 1 時半 (予定)